



◇ 今回は、関市のイベント「高校生マニフェスト大会」の参加報告です。

期 日： 平成30年3月21日(水) 10:00 ~ 12:00
場 所： わかくさ・プラザ 多目的ホール
主 催： 関市

内 容： 関高校、関有知高校、関商工高校の生徒が、わたしが市長になったら関市をこんなま
ちにしたい」をテーマに考えたまちづくりのアイデア発表。現在、まちづくりに取り組ん
でいる高校生の発表、関高生によるLGBT研究の発表、岐阜工業高等専門学校の学
生による本町商店街活性化の提案など。

関高校からは、マニフェスト宣言2名、LGBT研究2名、まちづくり実践報告1名(他校と混成チーム)
が参加しました。約70名ほどの市民の方々に、他校生とともに、次々と発表を行いました。

マニフェスト宣言では、「未来のために人への投資」をテーマに、多様性(ダイバーシティ)と教育(新・
夢プラン)のふたつを軸にしたまちづくりを提言。提言にはSGH活動の取り組みや成果が活かされてい
ました。

LGBT研究グループは、SGH課題解決型研究として取り組んだ学びの成果を発表しました。現在、
関高校では、LGBTフレンドリー宣言を発表した関市、当事者の団体、研究者、企業等と連携し、
様々な取り組みを行っています。今回の発表もその一環です。

実践報告では、市内の他校生との混成チームの成果発表。コラボ商品の開発、古民家リノベーシ
ョンや公共バス活用の提言等、具体的活動の成果が発表されました。高校生がNPOや企業、行政の
方々と連携して行った意欲的な取り組みです。

発表後には、尾関健治関市長によるコメントや若手市役所職員・他校生とのトークセッションがあり、
イベント終了後には、LGBT当事者の方々から励ましの言葉もいただきました。

次年度から始まる「関市第五次総合計画」では、少子高齢化、生産労働人口の減少といった課題に
対し、関市がいかに取り組むか、その方針が明らかにされています。

SDG's(持続可能な開発目標)の実現をめざす関高校のSGH活動では、グローバルな視点から、
地域の様々な課題についても取り組んでいきます。

